

# 八幡市市民協働活動センターだより

令和7年6月 ー 第43号 ー

発行：八幡市立市民協働活動センター

(運営：特定非営利活動法人八幡まちづくり協会)

## 登録団体の事業&活動ニュース

### 「八幡の歴史を探究する会」

#### 1. 令和7年度の活動状況（4月～6月）

- (1) 令和7年度年次総会の開催（4月25日）
- (2) 講演と交流の集い（4月25日）  
演題：「男山から眺める歴史点描」ー古代から中世へー  
講師：西 中道氏（石清水八幡宮禰宜）参加者：37名
- (3) 会員研究発表（6月27日）  
演題：「芭蕉最後の旅路」ー奈良・大坂ー  
発表：谷村 勉氏
- (4) 会報127号の発行（5月26日）
- (5) NHK・BS101「犬山城」（6月8日放送）に当会から史料提供。



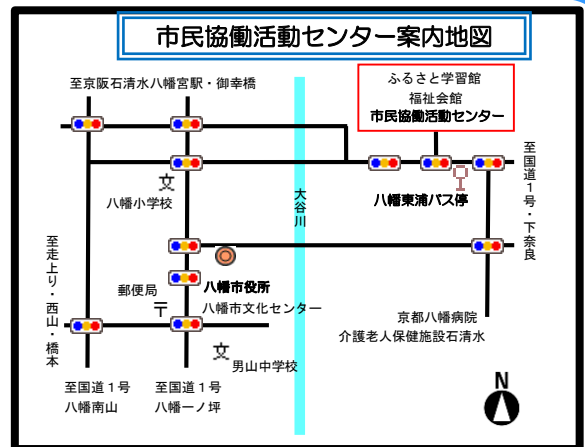
「男山から眺める歴史点描」  
講演風景

#### 2. 今後の予定

- |                                                                |                                     |
|----------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 8月29日（金）講演と交流の集い<br>（講師：鍛代 敏雄氏）「再読・織田信長文書」                     | 12月 歴探ウォーク 行先未定                     |
| 9月26日（金）講演と交流の集い<br>（講師：村瀬 由紀史氏）「(仮)狩尾神社の保全修理」                 | 2月 会員研究発表（発表：谷村 勉氏）<br>「(仮)八幡の歴史散歩」 |
| 10月25～26日（土・日）第53回八幡市民文化祭に展示発表<br>「(仮)八幡宮と源氏の武将」、「道標の町：八幡道標遺産」 |                                     |

## 市民協働活動センター

- 所在地 〒614-8022  
八幡市八幡東浦5（旧八幡東小学校 南棟1階）  
京阪バス・コミュニティバスやわた「八幡東浦」  
下車北へ徒歩100m ※敷地内駐車場スペースあり
- 電話 075-925-5748
- FAX 075-925-5748
- メール ywt-npo.support@kcf.biglobe.ne.jp
- ホームページ <http://www.city.yawata.kyoto.jp/0000004546.html>
- 開館日と開館時間  
月・火・水・金・土 午前9時～午後6時  
（年末年始・祝日を除く）※事務室スタッフは開館日の開館時間入室



### センター施設利用のご案内

活動センター施設（団体活動室及びコピー機、印刷機、ロッカー等）をご利用いただくには、団体登録（無料）が必要です。

#### <登録にあたっての注意点>

- ◎活動内容がNPO団体等の市民の自主的で営利を目的としない社会に貢献する活動であること。
  - ◎活動センターの目的の一つである「団体同士の連携やネットワークづくり」「施設運営」に協力できること。
  - ◎利用禁止事項の遵守 政治・宗教・営利目的活動、公の秩序又は公序良俗に反する活動をしないうこと。
- 以上の注意点を了承いただき、登録申請書、規約、活動の分かる資料とともに活動センター事務室スタッフまでご提出下さい。
- ◎上記の注意事項を徹底することが難しい利用については、お申込をお断りする場合がございますのでご了承下さい。

## 「八幡自然塾」



くっこんなん知ってた？

### ソリハシセイタカシギ（反嘴丈高嶋）



セイタカシギの仲間だが、嘴（くちばし）が反って（そって）いるからソリハシセイタカシギと名付けられた。

思えば、“反る”も“曲がる”も真っすぐではないことを指す言葉だが、“反る”は、不自然な方向へ、例えば、重力の作用に逆らうような方向に曲がるという意味である。

また、話を反らす、話を曲げるといった表現でも同様で、話の展開には道筋があるもので…それに沿ったものか、反ったものか…わかるものである。

## 登録団体紹介コーナー

### 「八幡Clip」

私たちは、「ふるさと八幡男山の森・田園風景を守り、子どもたちに持続可能な自然環境を残していきたい！」という思いで、様々な気づきを持ち寄り、市民目線で話し合い、学び、改善に向けて取り組んでいます。

「clip」は、皆さんの様々な思いや願いをつなぐことを意味しています。6月上旬には稲の草引き、6月下旬頃には田植えを行いました。田植え未経験の方も、お子さんも大人も一緒に、和気あいあいと活動することができました。

このように稲作や食育を通じて、自然と触れ合い、学びを深めています。あなたも一緒に活動しませんか！参加希望やお問い合わせは、下記の電話番号までお気軽にご連絡ください。

連絡先：代 表 福田 信子 (090-9863-9947)

事務局 入江 まり子 (090-7556-4405)

年会費：500円（会費は通信発行、学習会費用などに使います）



## 2024年活動報告

2024年は記録的な猛暑が米の収穫に甚大な影響を与え、前例のない供給不足と価格高騰を招きました。

長年の政府による減反政策や補助金の削減も相まって、農家の経営は厳しさを増し、八幡市でも農地の物流倉庫への転用が進みました。

このような状況に対し、私たちは持続可能な農業と食のあり方を模索するため、八幡市農業振興課や亀岡市のオーガニック給食推進事例から学びを深めました。また、京都辻農園の辻典彦さんの指導のもと、約20名の参加者（子ども含む）と共に米作りを体験し、食への理解を深める機会を得ました。

## 2025年の取組

今ほど、持続可能な食と農の在り方を問われているときはないのではないのでしょうか。今年も京都辻農園さんから田圃を貸していただき（少し面積を広げて）米作りをします。米作りの体験をしながら、八幡の農家さんとの交流、学習と仲間づくりを広げていきます。また、最近大きな問題になってきているPFASについても学習をしていきます。

